



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9767 URL https://www.nikken-kogaku.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 長濱 龍夫 TEL 03-3344-6811  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,318	△6.6	△73	—	△55	—	△59	—
2019年3月期第2四半期	3,553	△2.6	△184	—	△165	—	△176	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △135百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △175百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△32.49	—
2019年3月期第2四半期	△96.78	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,566	2,034	36.5
2019年3月期	7,322	2,169	29.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,034百万円 2019年3月期 2,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 2020年3月期の期末配当予想は現時点で未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	△4.6	140	29.4	150	16.0	100	12.0	54.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	1,862,254株	2019年3月期	1,862,254株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	38,114株	2019年3月期	38,012株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	1,824,186株	2019年3月期2Q	1,824,467株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や企業収益の改善に支えられ、緩やかな回復基調が継続したものの、米中貿易摩擦等の影響により、輸出や生産に弱さが見られ、先行きの不透明感が増加し、楽観視できない経営環境が続いております。

建設業界におきましては、建設投資は底堅く推移しているものの、依然として建設業界における労務単価、建設資材価格等の動向にも注視が必要な経営環境にあります。

当社グループにおきましては、型枠貸与事業の売上高が増加いたしましたものの、海岸堤防で使用する被覆ブロックの出荷量が減少したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,318百万円(前年同四半期比234百万円減)、営業損失は73百万円(前年同四半期は184百万円の営業損失)、経常損失は55百万円(前年同四半期は165百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は59百万円(前年同四半期は176百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、販売費及び一般管理費につきましては前年同四半期と比較して42百万円減少し、合理化・効率化に向けた施策を継続しています。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

## ①型枠貸与事業

当第2四半期に工事執行される契約が増加したことから、売上高が831百万円(前年同四半期比67百万円増)となり、営業損失は10百万円(前年同四半期は97百万円の営業損失)となりました。

## ②資材・製品販売事業

東日本大震災の復興事業が収束へ向かう事業環境の下、西日本における災害復旧向けの河川護岸・根固ブロック等の製品出荷が増加しているものの、売上高が2,487百万円(前年同四半期比302百万円減)となり、利益率は改善傾向にあることから営業損失は62百万円(前年同四半期は86百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,566百万円となり、前連結会計年度末比1,756百万円の減少となりました。

その主な要因は、現金及び預金の減少281百万円、受取手形及び売掛金の減少1,262百万円、電子記録債権の減少207百万円によるものであります。

## ②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は3,532百万円となり、前連結会計年度末比1,620百万円の減少となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,172百万円、長期借入金の減少89百万円及び短期借入金の減少250百万円によるものであります。

## ③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,034百万円となり、前連結会計年度末比135百万円の減少となりました。

その主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少72百万円、利益剰余金の減少59百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下資金という。)は、前連結会計年度末に比べ、281百万円減少し、956百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については、次のとおりであります。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は129百万円(前年同四半期は169百万円の収入)でした。主に減価償却費90百万円、売上債権の減少額1,448百万円及び仕入債務の減少額1,187百万円によるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は28百万円(前年同四半期は32百万円の支出)でした。主に鋼製型枠等有形固定資産の取得による支出26百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は382百万円(前年同四半期は339百万円の支出)でした。主に短期借入れによる収入1,000百万円、短期借入金の返済による支出1,250百万円、長期借入金の返済による支出89百万円及びリース債務の返済による支出42百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,238,024	956,057
受取手形及び売掛金	3,272,761	2,010,467
電子記録債権	344,433	136,927
商品及び製品	1,082,477	1,102,527
原材料及び貯蔵品	22,198	21,300
その他	82,215	148,217
貸倒引当金	△9,404	△8,517
流動資産合計	6,032,706	4,366,981
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	150,066	129,228
その他(純額)	238,196	262,019
有形固定資産合計	388,262	391,248
無形固定資産		
	14,147	13,228
投資その他の資産		
投資有価証券	633,390	537,520
その他	431,382	434,733
貸倒引当金	△177,130	△177,087
投資その他の資産合計	887,642	795,166
固定資産合計	1,290,053	1,199,643
資産合計	7,322,759	5,566,624
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,845,431	1,673,278
短期借入金	750,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	168,330	157,220
未払金	157,066	128,764
リース債務	76,345	60,897
未払法人税等	49,240	12,617
その他	136,286	135,769
流動負債合計	4,182,700	2,668,548
固定負債		
長期借入金	607,477	529,435
リース債務	80,201	73,714
繰延税金負債	85,496	62,068
退職給付に係る負債	152,825	146,723
その他	44,287	51,657
固定負債合計	970,287	863,598
負債合計	5,152,988	3,532,146

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,691	541,691
利益剰余金	519,518	460,248
自己株式	△65,037	△65,138
株主資本合計	2,000,600	1,941,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,689	93,248
その他の包括利益累計額合計	165,689	93,248
非支配株主持分	3,480	—
純資産合計	2,169,771	2,034,477
負債純資産合計	7,322,759	5,566,624

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,553,357	3,318,829
売上原価	2,957,910	2,655,016
売上総利益	595,446	663,813
販売費及び一般管理費	779,923	737,017
営業損失(△)	△184,477	△73,204
営業外収益		
受取利息	723	57
受取配当金	12,635	22,146
たな卸資産処分益	3,206	639
貸倒引当金戻入額	1,183	930
保険解約返戻金	4,409	—
為替差益	5,970	—
その他	3,182	1,857
営業外収益合計	31,311	25,630
営業外費用		
支払利息	10,325	5,723
支払手数料	—	500
手形売却損	467	1,016
為替差損	—	399
その他	1,800	321
営業外費用合計	12,594	7,961
経常損失(△)	△165,761	△55,535
特別利益		
固定資産売却益	—	968
特別利益合計	—	968
特別損失		
固定資産処分損	1,558	72
固定資産売却損	—	2,403
特別損失合計	1,558	2,476
税金等調整前四半期純損失(△)	△167,319	△57,042
法人税等	12,879	5,708
四半期純損失(△)	△180,199	△62,751
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,620	△3,480
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△176,579	△59,270

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△180,199	△62,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,633	△72,441
その他の包括利益合計	4,633	△72,441
四半期包括利益	△175,565	△135,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,945	△131,711
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,620	△3,480

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△167,319	△57,042
減価償却費	133,987	90,823
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,183	△930
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△31,207	△6,102
受取利息及び受取配当金	△13,358	△22,203
支払利息	10,325	5,723
為替差損益(△は益)	△5,968	410
固定資産処分損益(△は益)	1,558	72
売上債権の増減額(△は増加)	999,886	1,448,739
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,680	△19,174
仕入債務の増減額(△は減少)	△813,619	△1,187,977
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,290	△53,685
その他	△48,186	△51,884
小計	142,885	146,769
利息及び配当金の受取額	13,349	18,834
利息の支払額	△10,255	△5,848
法人税等の支払額	△6,669	△32,581
法人税等の還付額	30,298	2,669
営業活動によるキャッシュ・フロー	169,607	129,843
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△29,166	△26,973
その他	△3,000	△2,008
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,166	△28,982
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,800,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△1,920,000	△1,250,000
長期借入金の返済による支出	△158,782	△89,152
自己株式の取得による支出	△294	△101
配当金の支払額	△241	△196
リース債務の返済による支出	△60,020	△42,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,339	△382,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,948	△403
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△195,950	△281,966
現金及び現金同等物の期首残高	1,707,545	1,238,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,511,594	956,057

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	764,214	2,789,142	3,553,357
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	764,214	2,789,142	3,553,357
セグメント損失(△)	△97,717	△86,760	△184,477

2. 報告セグメントの損失金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

損益	金額
報告セグメント計	△184,477
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△184,477

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	831,696	2,487,132	3,318,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	831,696	2,487,132	3,318,829
セグメント損失(△)	△10,399	△62,804	△73,204

2. 報告セグメントの損失金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

損益	金額
報告セグメント計	△73,204
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△73,204

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。